

みずほCustomer Desk Report 2016/11/11号(As of 2016/11/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	105.65 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.81	1.0920	115.56	0.9846	1.2421	0.7650
SYD-NY High	106.95	1.0954	116.57	0.9896	1.2585	0.7738
SYD-NY Low	104.95	1.0865	115.00	0.9821	1.2377	0.7568
NY 5:00 PM	106.79	1.0891	116.35	0.9869	1.2553	0.7614
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.64/12.27		25RR	1.185	Yen Call Over	
NY DOW	18,807.88	218.19	債券市場			
NASDAQ	5,208.80	▲ 42.28	日本2年債	-0.2520	1.1bp	
S&P	2,167.48	4.22	日本10年債	-0.0370	3.0bp	
日経平均	17,344.42	1,092.88	米国2年債	0.9151	2.5bp	
TOPIX	1,376.35	75.19	米国5年債	1.5571	8.5bp	
シカゴ日経先物	17,520	280.00	米国10年債	2.1501	9.3bp	
ロンドンFT	6,827.98	▲ 83.86	独10年債	0.2740	7.1bp	
DAX	10,630.12	▲ 15.89	英10年債	1.3420	8.5bp	
ハンセン指数	22,839.11	423.92	豪10年債	2.5000	27.7bp	
上海総合	3,171.28	42.91	為替市況	USD/CNH	6.8301	▲ 0.0040
USDJPY 3M Vol	12.09	0.88%		ドルインデックス	98.79	0.28
USDJPY 6M Vol	11.79	0.86%	商品市況	CRB指数	183.334	▲ 0.65
EURJPY 3M Vol	11.07	0.48%		NY金	1,266.400	▲ 7.10
EURJPY 6M Vol	11.71	0.80%		WTI	44.660	▲ 0.61
				Dubai Spot	43.28	0.70

【昨日の指標等】

Date	Time	日	Event	結果	予想
11月10日	8:50	日	金融政策決定会合における「主な意見」公表	-	-
	8:50	日	機械受注(前月比/前年比)	9月 -3.3%/4.3%	-1.5%/4.1%
	8:50	日	対内・対外証券投資	-	-
	11:00	米	ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-
	22:30	米	新規失業保険申請件数	254K	260K
	23:15	米	ブラッド・セントルイス連銀総裁講演	-	-

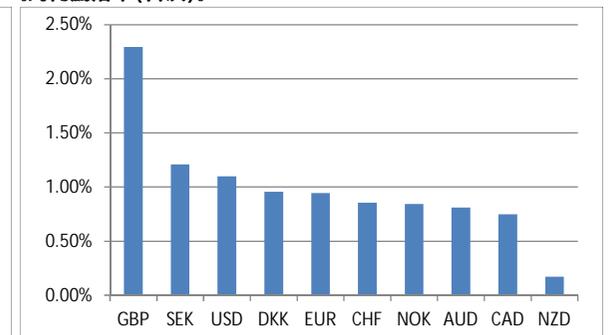
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
11月11日	16:00	独	CPI・確報値(前月比/前年比)	10月 0.2%/0.8%	0.2%/0.8%
	-	米	NY休場(ベテランズデー)	-	-
	23:00	米	フィッシャーFRB副議長講演	-	-
11月12日	0:00	米	ミシガン大学消費者マインド	11月 87.9	87.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	朝方に発表された本邦9月機械受注は前月比 3.3%と市場予想( 1.5%)を下回るも、前年比では+4.3%と市場予想(+4.1%)を上回るまちな結果となり相場の反応は限定的。東京時間のドル円は105.81レベルでオープン、前日海外時間のリスクオフの流れを引き継ぎ日経平均株価が前日比大幅高で寄り付いたことに加えて、この日は五・十日に当たることから実需動によるドル買い期待もありドル円は一時105.96まで上昇。しかし、直近高値圏では利益確定売りや本邦輸出勢による円転力も相応に入ると見られ反落に転じると、じりじりと値を下げ一時104.95まで下落。その後は日経平均株価の堅調推移を背景に再び上昇に転じると105円台後半を回復。引けにかけてはやや売りが強まり結局105.37レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は105.37レベルでオープン。欧州株の堅調推移や米金利の上昇を受けてドル買い地合いが継続し、節目となる106.00を突破。その後ドル円は堅調推移が続き一時106.94まで上昇。107.00手前では相応の売り圧力が見られ106円台前半まで戻される局面も見られたが、その後再び買い戻され106.76レベルにてNYへ渡った。ポンドドルは1.2417レベルでオープン。ポンド円の上昇に連れる形で上昇し、一時1.24台半ばまで上昇。全般的なドル高地合いの中、一旦1.2377まで下落したが、この水準では押し目買い意欲も強く、再びポンド買いが強まり1.2425レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	昨日のリスクオフムードを引き継ぎ、米長期金利の上昇を受けてドル円は106.94まで上昇し、106.76レベルでNYオープン。朝方行われたブラッド・セントルイス連銀総裁の講演で「主要金利は非常に低いまの見通し」と発言したことや、トランプ次期大統領が選挙中、米大手IT企業の独占禁止法違反や減税について非難していたこともあり、米大手IT企業の株価が下落した等を受けてドル円は106.25まで下落。しかし、米長期金利が一段高となる中、この水準ではドル買い意欲も強(高値の106.95まで反発。その後は米3連休を控えていることから様子見ムードが強まりドル円は106.80付近での推移が続く、106.79レベルで海外市場に渡った。一方海外市場で1.0954まで戻したユーロドルはドル買いが強まったことから反落し、1.0892レベルでNYオープン。米長期金利上昇を背景にドル買い優勢となり、1.0865まで下落。しかし、この水準ではユーロ買い意欲も強く、ユーロドルは1.0903まで値を戻し、1.0891レベルで海外市場に渡った。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.30 - 107.50	1.0850-1.0950	115.50-117.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は続伸した。トランプ新政権大胆な財政出動や減税措置によるインフレ率上昇への期待感から米長期債利回りが上昇する中、堅調な米株式市場などを背景にドル買い優勢地合いとなり、ドル/円は106.95まで上値を切り上げ、106.79付近でクローズした。本日のドル/円も底堅い展開を予想する。米国新政権に対する期待感を背景としたドル高、米株高地合いは当面継続する見込みだが、本日は米国休日ということもあり、一旦はBrexite後の高値である107.49が上値の節目となりそうだ。一方、本日の本邦株式市場は円安進行や昨日の堅調な米株式市場の流れを受け、堅調推移することが見込まれ、下値ではドル/円を下支えするだろう。市場は米大統領選挙の結果を消化中であり、大幅な値動きには注意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。